

科目名	経営管理論				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2021年度 前期	単位数	2		
担当教員	青木 孝弘				
内容および計画	経営管理とは、企業が効率的に利潤（付加価値）を生み出すための手法です。経営管理では、企業で働く従業員のモチベーションを高め、組織化することが重要であり、そのための組織体制や、環境変化に適応した効果的な経営戦略の構築が不可欠です。この授業では、経営管理に関する諸理論を学び、企業の実践的事例から、経営資源の合理的な運用方法について理解を深めます。				
1	ガイダンス（授業の進め方、評価方法、受講者の関心等）				
2	経営管理の諸理論①（テイラーと科学的管理法、フォーディズム）				
3	経営管理の諸理論②（ファヨールと管理過程論）				
4	経営管理の諸理論③（メイヨーと人間関係論）				
5	経営管理の諸理論④（近代管理論バーナード、サイモンからコンティンジェンシー理論）				
6	経営組織のデザイン①（基本的な組織形態、ヴェーバー、マートン）				
7	経営組織のデザイン②（様々な組織形態、ウェルチ、大前研一）				
8	これまでのまとめ（中間試験）				
9	経営戦略①（ポジショニング学派、アンゾフ、アンドリュース、ポーター、BCG）				
10	経営戦略②（資源ベース学派、ペンローズ、ハメル、バーニー、創発型ミツバーク、クリステンセン）				
11	行動科学と統合理論（フォレット、マズロー、アージリス、マグレガー、ハーズバーグ、ブルーム）				
12	リーダーシップ論（レヴィン、リッカート、ブレイク=ムートン、三隅二不二、ハーシー=ブランチャード、フィードラー、コッター）				
13	日本の経営管理（アベグレン）				
14	グローバル戦略、知的創造論（野中郁次郎）、組織文化（シャイン）				
15	これまでのまとめ				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『テキスト経営学[第3版]』	井原久光	ミネルヴァ書房	9784623051298	2011
その他、講義資料・データ等を配布します。					
参考書	塩次喜代明・高橋信夫・小林敏男（2009）『経営管理 [新版]』有斐閣 その他、授業で適宜、紹介していきます。				
成績評価					
	評価方法			割合(%)	
	筆記試験			50	
	レポート（2回）			25	
	出席状況・授業への積極的な貢献・ミニッツペーパー			15	
	報告プレゼン			10	
<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験は、中間と期末（選択式論述問題）に行います。 ・報告1回と課題レポートを2回、実施します。 ・各回出席状況を確認します。 					

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業活動を管理する仕組みについての原理原則と、実践的な知識を習得すること。 ・ 高い業績を挙げる、経営管理や組織体制のあり方について、自分なりの考えが持てるようになること。
先修条件	経営学入門、経営学原理を受講していることが望ましい。
実務経験	実務経験あり：名古屋市内の会計事務所（3年）、ワシントンDCの経営コンサルティング会社（1年）において会計支援・コンサルティング業務に従事後、地域活性化分野で社会的企業を創業。コミュニティビジネス、観光まちづくり、地場産業振興に15年以上従事してきた。この経験をもとに、経営管理とリーダーシップの基礎、応用について教授する。
その他	経営系編入学希望の方はぜひ履修してください。